

NTK てっこう長野 Vol.31

2017 年 1 月

製作：長野県鐵構事業協同組合
E-mail : jim2014@na-tetsu.jp

TEL.026-228-5748
FAX.026-228-0590



『東信支部 (有)戸堀鉄工所 社長 戸堀一夫氏提供』

理事長挨拶	2
顧問県議と懇談会	3
組合員だより (東信支部)	8
理事会・委員会だより	9
青年部会だより『三県 (栃木県・群馬県・長野県) 研修会について』	10
平成 28 年度前期技能検定『構造物鉄工』『とび』合格率	11
第 2 回原価実践講習会	12
工場認定申請状況、申請書の変更点／組合員の動き	13
組合からのお知らせ	14
全構協から報告事項等	15
編集にあたって／表紙のことば	17

理事長あいさつ

新年のご挨拶



長野県鐵構事業協同組合
理事長 山邊 正重

謹んで新年のごあいさつを申し上げます。
旧年中は関係各社および組合員各社に対しましては格別なるご指導及びお力添えを賜わり厚く御礼申し上げます。

米国でトランプ氏が次期大統領となったことで、日米の関係が今後どう変化していくのか固唾をのんで見守っているのは私だけではないと思います。米国抜きのTPPでは意味をなさないと安倍総理の発言後にトランプ大統領は脱退を明言し、また米軍駐留経費の増額にも言及していました。世界の様変わりの転換期を迎えたようにも思えます。大企業が利益をだしてベースアップするにもかかわらず中小企業の業績は伸びません。地方創生のため首都圏と地方の格差を是正していただきたいものです。

我々の業界は東京オリンピックの招致とともに工場の稼働状況もあがり少し見通しは明るくなっています。がその反面人手不足や技術者の高齢化がすすみ若手がなかなか入職してくれな

い現状をかかえています。行政や学校へこの鉄骨加工業を知ってもらうためにPR活動を続け、この業界の技術者育成にさらに力をいれて貢献していきたいと思っています。

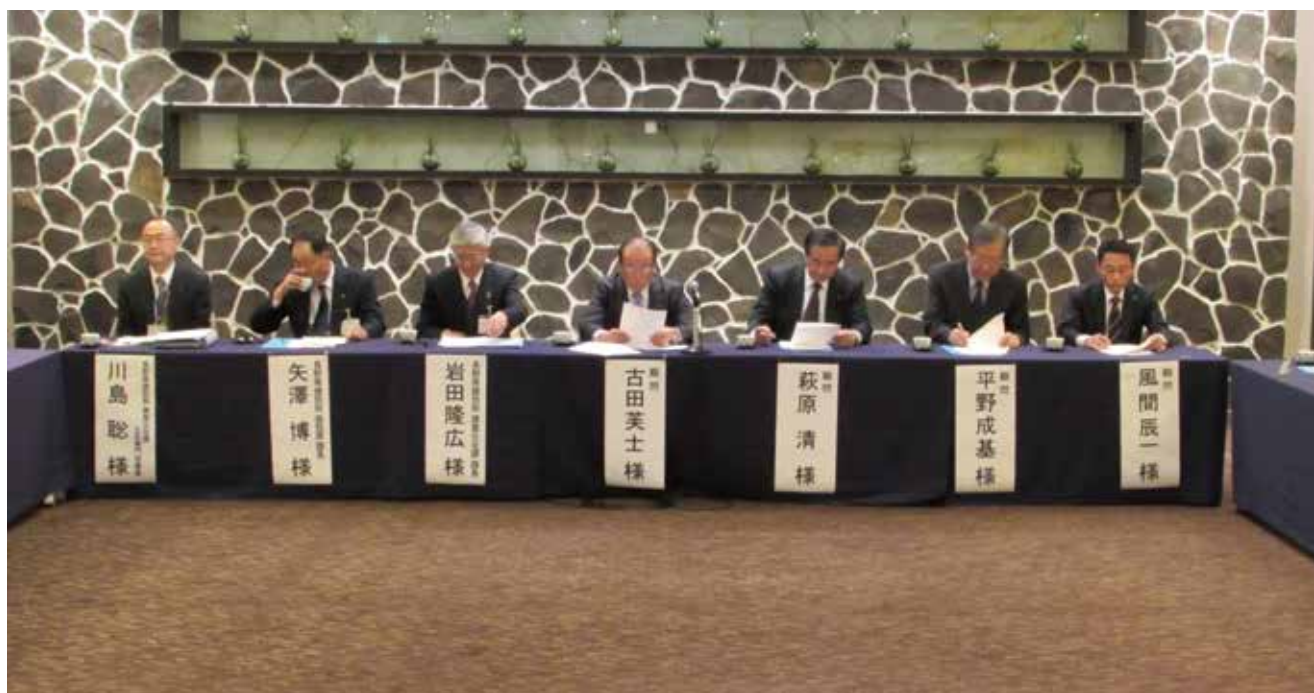
我々の責務と自負は安全安心で良質な建築鉄骨を供給することであり、これからも組合員一同研鑽し、信頼される製品の製作に努めます。本年も各界のご指導ご鞭撻のほどよろしくお願い致します。

最後に皆様のご多幸を御祈念申し上げ年頭のあいさつとします。



顧問県議との懇談会・・・

今年にはいりまして1月25日(木)に例年と同様ホテル国際21にて開催されました。今年度は各支部のご担当の顧問様全員にご出席をいただきました。北信支部担当顧問から長野県議会議員 風間辰一様、東信支部担当顧問 長野県議会議員 平野成基様、中信支部担当顧問 長野県議会議員 萩原清様、南信支部担当顧問 長野県議会議員 古田芙土様です。



今年の議題は下記の3項目をあげました。

- ①建設業許可区分での「建築鉄骨工事業」の新設独立について
- ②公共建築物のS造化と鉄骨製作認定工場の活用の推進について
- ③女性活躍推進法(平成28年4月1日施行)について

①につきましては西澤理事より説明していただき、②につきましては柳澤副理事事長よりS造化の事例説明、また適正グレードの指定をお願いしました。県建設部よりご回答の説明をいただきました。③につきましては、宮下理事(青年部会長)より現況報告等していただき、担当

部署が労働局雇用環境・均等部(室)のため「女性活躍加速化助成金のご案内」等一連の資料を基に建設部から説明がありました。

当組合からは14名の理事と今年は運営委員2名も加わり出席し、風間顧問、平野顧問、萩原顧問、古田顧問と4名の県議会議員様のご出席を賜わり、長野県建設部より岩田建築住宅課長及び矢澤施設課長、川島建築住宅課主任専門指導員にご臨席いただきました。

懇談会の内容は以下のとおりです。

顧問県議との懇談会・・・

①建設業許可区分での「建築鉄骨工事業」 の新設独立について 西澤理事より

昨年(2016)の3月25日には国会議員へ要望書が提出できその節はご同行ありがとうございました。その結果報道等によりかなりの反響があり、他県からも“我が県も要望を”という声が聞こえてきました。当県の実績となり本当に感謝しております。生命と財産を守るという我々の責務があります。我々は国土交通大臣による認定の性能評価取得に厳正な審査を受けています。性能評価をとるうえで、我々だけの専門技術者の多種の資格も必要であり、整備されてきています。国内建築物の40%弱は(床面積ベース)は鉄骨造であり、その構造体を製作する鉄骨工事は、建築工事にかかる専門工事における基幹産業であり、社会の要請に的確に対応し、その成熟度も高めてきました。それに答えるために分離独立し、鉄骨工事専門業者の事業意欲を高め、健全な経営基盤を築くことができる環境を整備することだと考えます。我々の業界としてはSグレード取得をしている企業もあり、こういうところは橋梁事業もしているということで、この分離独立にコンセンサスをとれているのかという問題もあり業界一丸で要望していけたらと思っています。国土交通省とは別に厚生労働省の職種分類も我々は「金属製造業」ということで非常にわかりにくくなっていますのでこちらでの業種分類もわかりやすくできればと考えています。今後の当組合の方針としては全構協(関東支部)をとおして引き続き要望をしていきたい。

風間顧問より

昨年、解体が独立した経緯としては、要望活動が全国的に長年にわたって続けられていたと国から回答がありました。また、国からの問いかけとして独立にたいして大企業からのコンセンサスがとれているのですかということがありました。いずれにせよ全国組織として各都道府県に声をあげていただきたい、長い目でしっかりとした運動にしてもらいたい、業界内でコンセンサスを得たうえで是非要望活動をしてもらいたい。この活動を各都道府県へ声を大にしてすすめていただきたい。

いずれにしても昨年は大きな先鞭をつけた年であったと思います。

②公共建築物のS造化と鉄骨製作認定工場の 活用の推進について

柳澤副理事長より

昨年のこの懇談会において公共建築物のS造化の推進について講演会を行いました。未だ学校・病院に於ける鉄骨造の比率は約25%ということでした。当組合が傘下にはいっている全構協は日本鉄鋼連盟と共に公共建築の鋼構造化推進委員会を設置し鋼構造化活動を推進しています。鉄骨造は人手不足や天候に大きく影響をうけることなく、工期の短縮を図ることができる。RCに比べ強度が高く、軽量のため、大空間を作ることができる等メリットもたくさんありますので今後の公共物件に対して是非S造化をお願いしたいと思っています。

顧問県議との懇談会・・・

…全国の公共物件の S 造化の事例を説明…

⇒ **S 造化事例資料 PDF**

また、認定工場の活用では規模にみあったグレード指定をお願いいたします。例えば、図面に R グレードでも可能な仕事をなんでも M 指定にされてしまうことがあります。

県建設部建築住宅課主任専門指導員川島様より

施設課の発注工事 1 2 件の状況を資料をもとに説明を受けた。

⇒ **議題②の関係資料 PDF**

(訂正：望月高校渡り廊下ほか建設工事の工事場所 長野市⇒佐久市)

グレードの指定については別表第 1 グレード別の適用範囲と別記事項に基づいています。

1 2 件の鉄骨の下請けですが、全て組合員の方に製作してもらっております。

赤羽副理事長より

ただ今の議題②関係資料の中で、松本美須々ヶ丘高校渡り廊下改築工事については延べ面積が 214 m²で 500 m²以内ですので、J または R グレードでもいいのではないかと、また、望月高校渡り廊下ほか建設工事も同様に 250 m²なのでグレードは J または R ではダメなのか。県からの設計仕様をみると M にしておくかと安心なのかなということと思うので今後検討してほしい。

県建設部建築住宅課主任専門指導員川島様より

回答：板厚も関係してるのかどうかまた確認してご回答致します。

③女性活躍推進法（平成 28 年 4 月 1 日施行）について

宮下理事より

建設業業界は人材の不足が懸念されるなか、これからの鉄鋼業界の永続的発展のために町の鍛冶屋というイメージから鉄骨製造工場へと確固たる地位を築いていかなければならないと思っています。人材という財産を確保していかなければ、まず我々業界は成り立っていないと感じております。

女性活躍推進法では常時雇用 300 人以下の事業主については、

- ①自社の女性の活躍に関する状況把握、課題分析
- ②状況把握、課題分析を踏まえた行動計画の策定、社内周知、公表
- ③行動計画を策定した旨の都道府県労働局への届出
- ④女性の活躍に関する状況の情報の公表が努力義務とされています。

業界の女性の雇用については非常に体力が必要な工程、職場の環境整備と課題が多々あるかと思いますが、本日の懇談会を通じて一つ一つの課題をクリアしていきたいと思っています。女性の雇用推進ということとさらに若手の雇用にもつなげていきたいと感じています。

県建設部建築住宅課主任専門指導員川島様より

⇒ **議題③関係資料 p 1 ～ p 10 PDF**

県で女性活躍のための助成金制度というものは現在ありません。

国の労働局雇用の関係で助成金があるということで資料説明したいと思います。加

顧問県議との懇談会・・・

速化Aコースで30万円の助成があります。

県建設部では女性の活躍のPRをしています。

県立大学三輪キャンパスではけんせつ小町というグループをつくってPR活動をしております。この現場で建設業協会のけんせつ小町に「しらかば小町チーム」として登録をしてもらいますと登録証が発行されます。元請けの女性で工事の技術者2名、警備会社2名、専門系2名、事務職系2名合計8名で構成という形になっている。活動期間は工期中です。県立大学は女子学生が多く、女性なりの気遣いで学生さんの安全の確保等の活動を行っています。

事例を紹介させていただきました。ありがとうございました。

宮下理事より

設計とか事務関係とかは比較的女性の雇用が可能であり、業界で必要としているのは工場の中での作業員として女性を活用したいと思っています。技術や技能を育てるような助成金をしていただきたいと思います。

○その他

柳澤副理事長より

高校に行かない中学を卒業しただけの子供たちの職業訓練をする場所がない現状である。我々が採用をしたくても、何らかの職業訓練をうけていれば採用しやすい。高校へ行かない子供たちの行く場所がない状況なので、かつては職業訓練校へ入れたが現在は行き場所がない。教育制度をなんらかの形でつくってもらい、中卒の子供たちの訓練場所を考えてもらいたいと思います。

県建築住宅課長岩田様より

お答えはいますぐ応答できる状況ではございませんけれど、若年労働者の雇用の話をよく聞きます。各技術専門校でも松本は定員に満たしているが長野・伊那は定員半分も満たない状況です。工業系の高校では現場見学をしたり、さらには工務店でインターシップを行っています。

具体的に鉄工関係の方たちがどういうルートで若年の方が入ってくるのかお話を伺うなかで具体的な検討ができればと思っています。

西澤理事より

今年度はじめて関東運営委員会で各県でどの位生産しているかという長野県と新潟県は生産高は突出しています。関東は100万トンで長野県はその中で20万トン弱ということで建築鉄骨の生産が非常に盛んで、労働者も大変必要な業界ということでございます。

古田顧問より

昨年国交省へ陳情の同行をしました。全国組織を中心に継続的にお願いをしていくことがいいのではと思っています。

地震が発生している中、建物が壊れないようにすることが大事だということで、決定ではありませんが1戸当たり100万円増額して家をつくって被害を最小限に食い止める。いま危機管理というものが行政の最大課題になってまいりました。景気を良くすることが大事でいろいろな取り組みをおこなっているところでございます。

行政と協力して努力していきたいと思っています。

顧問県議との懇談会……

平野顧問より

皆様ご苦勞様です。昨年は国へ要望を同行しましたがすぐ受け入れられるということではありませんが、声をかけてもらって共に動けたらと思っております。時代の変わり目が来ているように思いますのでこの新しい時代でやりやすい形にしていきたいと思っております。

県も新しい計画をたてることになってまいりました。皆様のお役にたてればと思っておりますのでどうぞよろしくお願い致します。

風間顧問より

本日は参考になる話を聞かせていただきありがとうございます。

グレード指定話の中で県としても回答をお願いします。

国の助成金をぜひ活用して女性の働く場を創出していただければと思います。

県にたいして請願および陳情という形がとれます。請願は県会議員の名をつけてだ

す。顧問に県会議員がおりますので請願を是非利用してください。中学校卒業者を職業訓練校で鍛えていくご指導をいただきたくご手配いただきたいという内容で請願する。請願に対して委員会では○・×・△を決めます。正式の組合としての意見であれば、請願という手もあります。

お手伝いできることがあれば何なりと言ってください。

グレード指定について県の回答です。ご覧下さい。

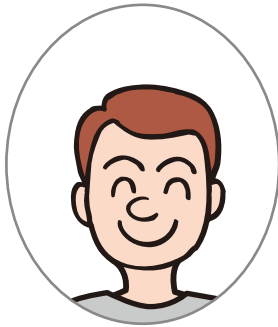
⇒ 県発注工事におけるグレード指定について PDF



組合員だより



東信支部組合員だより



有限会社 三浦鉄工所
専務 三浦 啓司

【ライフワーク】

J 2 松本山雅

1 1 月 2 0 日、車を松本市アルウィン
へ向ける。

J 2 松本山雅の第 4 2 節横浜 F C 戦の
観戦のためだ。

J 1 へ自動昇格する 2 枠を懸けて、首
位コンサドーレ札幌、2 位清水エスパルス、
3 位松本山雅による、三つ巴でこの最終
節にまでもつれ込んだ。

2 位の清水エスパルスとは微妙な位置
にあって、山雅が勝って、清水が引き分
け以下の場合と山雅が引き分け、清水が
負けた場合にのみ自動昇格が決まる。

心配なのは 3 チームがそれぞれ対戦す
る相手の現在の調子、順位であって、札
幌は最下位の金沢と、清水は 9 位徳島と、
山雅は 8 位の横浜が相手である。

チケットを手に選手の入場待ちをする
熱狂的な山雅サポーターと一緒に選手の
バスを待つ。

対戦相手の横浜 F C のバスが停まる。
バスから降りスタジアムに入る選手の中

に、遠くからでもはっきりわかる強いオー
ラ。自分との距離わずか 1 m。キングカズ
が通り過ぎていった。

山雅の応援に来ていても、「キングカ
ズ」だけは別であった。

エレベーターで 2 階席に向かい、ピッ
チ全体が見渡せる席についた。偶然、チー
ムスタッフが前の席に座っていた。

チームスタッフは同時刻にキックオフ
の清水戦をパソコンで気にしながら山雅の
試合を観戦していた。

ピッチにいる山雅の選手に前節の町田
戦のような動きに固さは感じられなかった。
相手の横浜と点の取り合いとなった試合は、
入場者数 1 9 6 3 2 人と記録を更新するサ
ポーターは自動昇格に向け大盛り上がり。

引き分けも覚悟したが 8 2 分にセット
プレーからの 3 点目をもぎ取り、念願の勝
ち点 3 を手にいれた。

がしかし、2 位の清水も勝ったため、
自動昇格とはならずプレイオフへ回ること
が決まってしまった。プレイオフでも勝ち
上がることができず、来シーズンも、J 2
で戦うこととなったが、今年以上の応援を
し、来年の今頃は J 1 昇格を優勝で決めて
欲しい。

週末のスタジアムへ行き、勝った、負
けたと一喜一憂する。これが私のライフワ
ークです。

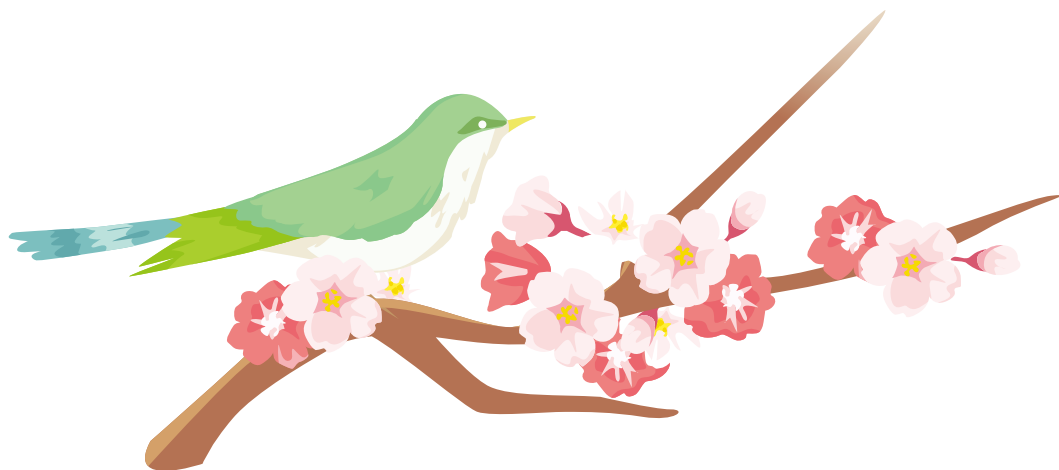
理事会、委員会だより



正副常任理事会、理事会、各委員会開催状況

(自平成 28 年 3 月 ~ 至現在分)

日時	会議名	場所
平成 28 年 3 月 11 日	第 5 回技術委員会	組合事務所
〃 7 月 13 日	第 1 回運営委員会	長野市「松栄寿司東口店」
〃 7 月 29 日	第 3 回理事会	松本市「モニターニュ松本」
〃 8 月 26 日	第 2 回技術委員会	松本市「楽蔵うたげ」
〃 10 月 12 日	臨時常任委員会	組合事務所
〃 11 月 1 日	第 2 回運営委員会	組合事務所
〃 11 月 25 日	第 3 回技術委員会	松本市「モニターニュ松本」
〃 11 月 29 日	第 1 回常任理事会	組合事務所
平成 29 年 1 月 20 日	第 5 回青年部役員会	(株)高山製作所会議室
1 月 25 日	第 4 回理事会	長野市「ホテル国際 2 1」



青年部会だより



平成 28 年度「青年部会 三県（長野・栃木・群馬）合同研修会」



株式会社 高山製作所
取締役常務
高山 佳和

平成 28 年 11 月 19 日（土）に、「青年部会 三県（長野・栃木・群馬）合同研修会」を大河ドラマで盛り上がる上田市と千曲市の戸倉上山田温泉にて、三県合計 27 名が集まり盛大に行われました。

研修会の内容といたしまして、上田市の上田地域高等職業訓練センターにて「構造物鉄工 2 級の製作体験」を行いました。また、千曲市の戸倉上山田温泉「荻原館」に会場を移して懇親会を開催いたしました。

始めに研修内容を「構造物鉄工 2 級の製作体験」としたのは、他県において資格の内容すら知らないという話がありました。そこで実際に体験してもらおうという意見から企画されました。研修内容が決まり、長野県で行われる合同研修会を成功させるため、宮下青年部会長を中心に各支部がそれぞれ協力して準備を進めてきました。

まず行われた製作体験では、各県対抗のチーム戦で行われました。各工程での得点

制とし順位付けを行い、上位チームは豪華景品がもらえるとあって、各チームとも製作に力がはいていたのではないのでしょうか。しかし、初めての製作体験の方、また工場加工業務から離れている方も多く、四苦八苦しながら製作体験を行っていました。その結果多くの珍プレー好プレーが生まれました。熱い戦いの結果は、栃木県チームが優勝。おめでとうございます。製作体験を終えての他県の反応は、業務における必要性を感じた（通常業務への応用、従業員教育にも使える）等の意見をいただき、この資格に対し一定の理解を得ることができたと思います。

製作体験を終えての懇親会では表彰式も行われ、多いに盛り上がりました。また製作体験の失敗談、他県での青年部活動状況、他県の近況など普段ふれる事がないような話ができ、有意義な時間を過ごす事ができました。

最後に、「青年部会 三県（長野・栃木・群馬）合同研修会」が大成功に終わった事をご報告いたします。山邊理事長をはじめご来賓の方々には、お忙しい所ご足労いただきましてまことにありがとうございました。また合同研修会のために協力していただいたすべての方に感謝申し上げます。ありがとうございました。



平成28年度前期技能検定『構造物鉄工』『とび』合格率

H28年度 前期 技能検定 試験結果

職種：鉄工 作業名：構造物鉄工作業

(下記表のPDF 画像はこちら)

総合合格率							
職種/級	科目	合格者数	合格率	前年度との比較	H27年度合格率	H26年度合格率	H25年度合格率
		受験者数					
1級	実技	13/25	52%	>	36%	65%	75%
	学科	12/23	52%	<	75%	88%	85%
	技能士	11/28	39%	>	27%	57%	70%
2級	実技	12/16	75%	>	54%	54%	57%
	学科	16/23	70%	>	55%	52%	37%
	技能士	16/26	62%	>	39%	39%	25%

講習会受講者合格率							
講習会参加合格者	講習会参加者	合格率	前年度との比較	H27年度講習会参加者合格率	H26年度講習会参加者合格率	H25年度講習会参加者合格率	
9/17	現3/6	53%	>	25%	65%	78%	
5/8		63%	<	86%	93%	83%	
7/17		41%	>	13%	53%	67%	
4/8	現2/8	50%	<	54%	50%	44%	
7/8		88%	<	90%	90%	50%	
6/10		60%	>	54%	55%	18%	

学科・実技両方受検、片方受検総合合格率							
1級	科目	合格者数	合格率	前年度との比較	H27年度合格率	H26年度合格率	H25年度合格率
		受験者数					
両方受検	実技	9/20	45%	>	27%	63%	76%
	学科	11/20	55%	<	82%	88%	82%
	技能士	7/20	35%	>	18%	50%	65%
片方受検	実技	4/5	80%	>	67%	75%	67%
	学科	1/3	33%	>	0%	100%	100%
	技能士	4/8	50%	>	50%	80%	83%
2級	科目	合格者数	合格率	前年度との比較	H27年度合格率	H26年度合格率	H25年度合格率
	受験者数						
両方受検	実技	11/13	85%	>	60%	50%	62%
	学科	11/13	85%	<	90%	90%	31%
	技能士	10/13	77%	>	60%	50%	8%
片方受検	実技	1/3	33%	=	33%	67%	0%
	学科	5/10	50%	>	20%	27%	43%
	技能士	6/13	46%	>	23%	33%	40%

学科・実技両方受検、片方受検講習会受講者合格率							
講習会参加合格者	講習会参加者	合格率	前年度との比較	H27年度講習会参加者合格率	H26年度講習会参加者合格率	H25年度講習会参加者合格率	
7/14		50%	>	38%	60%	80%	
5/8		63%	<	86%	93%	82%	
5/14		36%	>	22%	47%	65%	
2/3		67%	>	—	100%	67%	
—		—	—	—	—	100%	
2/3		67%	>	—	100%	75%	
4/6		67%	>	60%	50%	50%	
5/6		83%	<	90%	89%	44%	
4/6		67%	>	60%	50%	44%	
0/2		0%	<	33%	—	0%	
2/2		100%	>	—	100%	100%	
2/4		50%	>	33%	100%	50%	

職種：とび 作業名：とび

(下記表のPDF 画像はこちら)

総合合格率							
職種/級	科目	合格者数	合格率	前年度との比較	H27年度合格率	H26年度合格率	H25年度合格率
		受験者数					
1級	実技	41/60	68%	<	82%	94%	78%
	学科	45/62	73%	>	71%	97%	87%
	技能士	37/64	58%	<	68%	91%	71%
2級	実技	4/5	80%	>	71%	100%	100%
	学科	3/5	60%	>	56%	33%	83%
	技能士	3/5	60%	>	56%	33%	83%

講習会受講者合格率							
講習会参加合格者	講習会参加者	合格率	前年度との比較	H27年度講習会参加者合格率	H26年度講習会参加者合格率	H25年度講習会参加者合格率	
38/52		73%	<	86%	100%	82%	
41/54		76%	=	76%	96%	84%	
35/58		60%	<	70%	96%	75%	
4/4		100%	>	83%	100%	100%	
3/4		75%	>	63%	0%	80%	
3/4		75%	>	63%	0%	80%	

学科・実技両方受検、片方受検総合合格率								
1級	科目	合格者数	合格率	前年度との比較	H27年度合格率	H26年度合格率	H25年度合格率	
		受験者数						
両方受検	実技	40/58	69%	<	81%	93%	77%	
	学科	42/58	72%	>	71%	100%	86%	
	技能士	33/58	57%	<	67%	93%	68%	
片方受検	実技	1/2	50%	<	100%	100%	100%	
	学科	3/4	75%	>	—	50%	100%	
	技能士	4/6	67%	<	100%	80%	100%	
2級	科目	合格者数	合格率	前年度との比較	H27年度合格率	H26年度合格率	H25年度合格率	
	受験者数							
	両方受検	実技	4/5	80%	>	71%	100%	100%
		学科	3/5	60%	>	43%	0%	100%
技能士		3/5	60%	>	43%	33%	100%	
片方受検	実技	該当なし	—	—	—	—	—	
	学科	〃	—	—	100%	100%	50%	
	技能士	該当なし	—	—	100%	33%	50%	

学科・実技両方受検、片方受検講習会受講者合格率							
講習会参加合格者	講習会参加者	合格率	前年度との比較	H27年度講習会参加者合格率	H26年度講習会参加者合格率	H25年度講習会参加者合格率	
37/50		74%	<	86%	100%	82%	
39/51		76%	=	76%	100%	83%	
32/53		60%	<	69%	100%	79%	
1/2		50%	<	100%	100%	—	
2/3		67%	—	—	0%	100%	
3/5		60%	<	100%	75%	100%	
4/4		100%	>	83%	100%	100%	
3/4		75%	<	50%	0%	100%	
3/4		75%	>	50%	0%	100%	
該当なし		—	—	—	—	—	
〃		—	—	100%	—	50%	
該当なし		—	—	100%	—	50%	

(小数点第1位四捨五入)

第 2 回原価実践講習会

原価管理実践講習会について

全構協では「原価」に対する意識高揚及びその徹底を図ることが重要であると、実践的に「原価」が算出できる「原価早わかりシート」を新たに作成しました。

同シートは平成 10 年に発刊した「見積・積算マニュアル」を基本としていますが、法定福利費の追加など、内容も実態に即して改めています。特に中小規模の FAB に配慮して、わかりやすく、かつ操作性もより簡便な形式にしています。

つきましては、「原価に対する意識の高揚と徹底」を図るために、この「原価早わかりシート」を活用した講習会です。第 1 回目が終了となり第 2 回目を来る 2 月 15 日に予定しております。

詳細は下記ご案内をご覧ください。

重要なお連絡

※受講人数が少ないため急遽会場を下記のとおり変更しました。日程は変更なしです。

変更 会場：長野市「組合事務所」

メルパルク長野から組合事務所へ変更となりました。

受講者の方はお間違えないようお願いします。 [下記ご案内の PDF 版はこちら](#)

組合員 各位	平成 29 年 2 月 7 日
	長野県繊維事業協同組合 理事長 山 邊 正 重
第 2 回 原価実践講習会のご案内	
時下ますますご清祥段、お慶び申し上げます。平素は格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。 全構協の不況対策委員会により「不況になる前に改革できる施策」として「原価」に対する意識高揚及びその徹底を図ることが重要であるとの結論に達し、各組合員に C D 版が配布されております。 この講習会は 6 月に第 1 回を開催しております。皆様のご要望にお応えして第 2 回の開催となりました。 全構協運営委員会企画による「講師養成講習会」が開催され、当組合より西澤運営委員長および青年部から宮下社長に出席していただいております。 つきまして、またお二人に講師をお願いしまして 2 回目の講習会を下記のとおり開催することとなりましたので多数御参加くださいますようお願いいたします。	
記	
1. 日 程	平成 29 年 2 月 15 日 (水) 13 : 30 ~
2. 会 場	組合事務所 長野市若里 7-11-8 坂田ビル 3 F
3. 持ち物	・ パソコン(エクセル 2007 以降)ができる方 ・ 配布 (4 月下旬) されている原価早わかりシート「C D 版」 ・ 筆記用具等
※原価管理をされている方、意識している方を対象とします。	
以上	
~~~~~	
<b>第 2 回原価実践講習会(29.2.15)申込書</b> F A X 番号 : 026-228-0590 / mail : jim2014@na-tetsu.jp	
長野県繊維事業協同組合 宛	企業名 _____
	連絡先 _____
標記講習会に参加します。	
ご氏名 _____	_____

## 工場認定申請及び予定状況

工場数 68（内認定工場 44 / 未認定工場 24）（平成 28 年 10 月 1 日現在）

2016 年前期の認定申請工場は 4 社でした。

内訳 H…1 社 M…3 社

2016 年中間の新規認定申請工場は無し。

2016 年後期の認定申請工場は 7 社です。

内訳 S 社…1 社 M…3 社 R…3 社（内新規 1 社）

※11月25日（金）に松本市「ホテルモンターニュ松本」で、性能評価研修会を開催いたしました。当組合の元専務理事海野様に講師をしていただき、倉科委員長より鉄骨精度測定指針改訂について、また事務局より申請書の一部変更について説明しました。性能評価申請でご不明な点がございましたら事務局までご連絡ください。

~~~~~性能評価申請書の内容の変更点~~~~~

- ① 新たに各工場の E-mail アドレス記入欄を設けた。
- ② 工場案内図に「分工場」の住所記入欄を設けた。地図にも分工場を表記していただきます。製造設備、検査設備の数量の詳細を「複数工場の同一単位工場申請書式」に記入していただきます。
- ③ 製作実績リストの下段に※2として「この製作実績リストの中には「完全溶け込み溶接部を有する柱梁接合部がある製作実績」が最低 1 件必要です。が追加されています。
- ④ 申請書作成チェックリストの提出

組合員の動き **NOW**

現在の組合員数は 67 社（68 工場）です。

| | |
|--------|------|
| ■ 北信支部 | 17 社 |
| ■ 東信支部 | 12 社 |
| ■ 中信支部 | 21 社 |
| ■ 南信支部 | 17 社 |

平成 28 年度

（有）岩井鐵工 入会（H28.10.1～）

Total
67



組合からのお知らせ

◎事務局の新しい職員をご紹介します。

前回の「てっこう長野」への掲載を忘れてしまいました。m()m

もう皆さまご存じの方も多いと思いますが、平成28年3月1日からお仕事していただいています。大日方友美さんです。ご本人から自己紹介してもらいます。

H28年3月1日より勤めさせて頂いております、大日方 友美と申します。

長野市出身。

学歴：専門学校

好きなモノ：仕事・ヨガ・料理・車・動物・釣り

やりたいコト：釣り(大きい魚が釣れるようになりたい)・

手洗い洗車(乗り換えてから一度も手洗いしたことなく車がかわいそうなので。)

・前職

電気工事会社にて事務全般、法人・個人向け太陽光発電システム、オール電化、その他電気設備関係の営業、各種助成金申請、ユーザー様アフターフォロー、人事新卒採用関係等々を務めておりました。

・今までの経験から学んだこと。

『コミュニケーション』の大切さです。

働く上で本当に大切なコトだと思います。

営業も一人で行い、各種書類作成も一人作業がほとんど。

しかし、その先々にはお客様であり、仲間であり、必ず『人』がいます。つまり一人ではありません。

正直、当たり前のコミュニケーションも時には難しいと感じることもありました。

けど諦めずコミュニケーションをとることにより、お互い解りあえること、新たに知ること、何より相手の笑顔が沢山見れて、『ありがとう』と言ってもらえることに、やりがいを感じました。

仕事→志事変わった瞬間かもしれません。

だから私は働くことが好きなのです。

働くことは、人と人との関わり、繋がりを大切にすることにより、多くのコトを学び、経験も増え、人として成長ができると考えてます。

・今後の抱負

何事にも前向きに、出来ないと言わず、まずやる。を、信条にこれからも組合員様と共に業界を支えていきます。

これからも宜しくお願い申し上げます。



◇訃報◇

●(株)カネタの長田社長のご尊父様 長田吉弘様が76歳にて9月8日に逝去されました。ここに謹んでご冥福をお祈りいたします。

●綿半ソリューションズ取締役稲垣孝光様の御尊父様 稲垣正人様が88歳にて12月13日にご逝去されました。ここに謹んでご冥福をお祈りいたします。

●小松鉄工(株)代表取締役社長 小松實夫様が12月24日にご逝去されました。享年73歳。ここに謹んでご冥福をお祈りいたします。

全構協の報告事項等

1. 現場工事従事者の社会保険加入の徹底について

平成 28 年 12 月 5 日付にて全構協運営委員会より構成員各位に下記の通り届けられています。

平成 29 年 4 月以降は社会保険未加入企業、未加入者は現場工事から排除されることとなります。

記

1. 発注者との契約

- ① 法定福利費を含んだ見積書提出の徹底（平成 25 年全構協統一見積に基づく）
- ② 現場法定福利費を含んだ契約の徹底

2. 現場工事従事者（企業、技能者）の社会保険加入の徹底

- ① 現場工事従事者（企業、技能者）が社会保険に加入しているか否かのチェックを行い、未加入の場合は来年 3 月までの加入を徹底させる。
- ② 未加入企業・技能者は契約しない。
（未加入の場合は現場工事から排除されるので、契約・採用できない旨説明）

3. 留意点

現場工事を施工する場合、発注者（元請）から現場工事法定福利費としての契約の有無に関係なく、現場工事従事者（企業、技能者）には法定福利費として契約・支払を行って下さい。（会社の利益ではありません）

以上

2. 「鉄骨製作工場の基準マニュアル集」改訂について

日本建築学会 JASS6 が本年 10 月に改定されることに伴い、本基準マニュアル集の改訂作業に着手する。

改訂するマニュアルは次の 4 点で、JASS6 改定後に県組合に配布（CD 版）する予定である。

- ・ 工作基準マニュアル
- ・ 検査基準マニュアル
- ・ 外注管理基準マニュアル
- ・ 製作要領書作成基準マニュアル

全構協の報告事項等

図書関連情報

- 1) JASS6 (日本建築学会)
..... 本年 10 月改定予定
- 2) 冷間成形角形鋼管設計・施工マニュアル (日本建築センター)
..... 本年 6 月改訂予定
- 3) 建築鉄骨溶接部の機械的性質の標準試験マニュアル (日本鋼構造協会)
..... 昨年 7 月発行済み
- 4) 鉄骨造建築物接合部ディテール集 (日本鋼構造協会)
..... 本年 2 月発行予定

3. 鋼材の識別表示の統一化について

鋼材加工後の識別方法として一般的に行われている端面塗色方式の識別色を統一するため、日本鋼構造協会規格「鋼材の識別表示標準」をより実効性を確保し得る方式に改定するようを要望しています。

改訂された場合、学協会の標準・指針等に反映するとともに、当協会の工作基準マニュアルなどを通じて普及を図る予定です。

4. 鉄骨技術研究開発助成制度について

来年度から実施予定で募集をかけるそうです。募集時期はまだ未定です。

助成の内容

1 研究あたり

会員応募型 300 万円以内、かつ自己負担額以下

全構協指定型 全額

※全構協の年間予算総額は、1,000 万円以内とする

5. 人材育成教育に関するアンケート調査について

全構協では業界の様々な課題に取り組み、喫緊の課題として「業界の将来を担う人材の育成・教育」が重要なテーマの一つであると考えています。

つきまして、「人材育成・教育」に関する構成員企業各社のニーズを把握することは必須であるとの結論に達し、このテーマに関する各社のご意見・ご要望を聴かせていただくこととなり、アンケート調査を実施いたします。

皆様のご協力をお願いいたします。

アンケート調査依頼はメールにてご依頼となりますのでよろしくお願いします。

編集にあたって

今回も盛りだくさんの『てっこう長野』となりました。電子版になった分ページ数を気にすることなくいろいろな記事を書けることができ豊富な情報を皆様にお届けできるようになりました。

半面気軽に手に取って読めないという点もあります。会員の皆様には今後もより良い情報をお届けしてまいりますので、ぜひ電子版『てっこう長野』を今後ともよろしく
お願いいたします。



総務委員長
西澤 章

表紙のことば

上田城は、徳川の大軍を2度にわたって退け、日本全国に名を馳せた真田昌幸の居城です。現在は城址公園として整備され、上田市の観光拠点になっています。

上田城は天守閣がありません。大手門は近年復元されたそうです。

写真提供者

東信支部 (有)戸堀鉄工所 社長 戸堀一夫



安全・安心

建築鉄骨は品質保証の時代



当組合のNTKマークが安全・安心の目印です。

長野県鉄構事業協同組合

長野市若里7丁目11番8号 坂田ビル3F TEL 026-228-5748 FAX 026-228-0590